

行政報告

令和元年第4回定例会

災害情報へのアクセスを改善 花輪駅前観光案内所をオープン 通学路の安全対策を強化

令和元年第4回鹿角市議会定例会が5月31日から25日間の会期で開かれ、補正予算案などの議案が審議されました。初日に行われた市長の行政報告の概要は次のとおりです。

■ 遭難事故などの防止対策

4月27日から十和田高原地区の市道2カ所の通行を規制し、入山自粛を呼びかけているほか、人出が多くなる週末の早朝に、直接現地で注意喚起を行っています。

また、5月23日には、警察や消防、地元猟友会などと山岳遭難救助訓練を行い、クマとの遭遇を想定した対応を確認しており、引き続き事故防止に努めていきます。

■ 防災体制の充実

4月22日に大手ウェブサイトを運営するヤフー株式会社と「災害に係る情報発信等に関する

協定」を締結しました。

これにより、有事の際に、本市ホームページへのアクセスが集中した場合の混雑が改善され、市内外の方へ必要とされる情報が行き届きやすくなりました。メール配信サービスやコミュニティFM、県情報集約システムなどを活用しながら、災害発生時に混乱が生じないよう、情報伝達手段の仕組みを整えます。

■ 第7次総合計画の策定

今年度は、本市の将来像やまちづくりの基本目標、施策大綱などを示す基本構想を策定することにしており、庁内の初回会議を開催し、作業をスタートし

ています。

今後は、かづの未来会議や、将来を担う中・高校生による会議などで市民からもまちづくりに参画いただき、市民ニーズなどを把握して、来年の秋ごろまでに基本構想を取りまとめます。

■ ふるさと鹿角応援寄附

6月1日から制度が変更となり、本市を含む1783団体に寄附金の特例控除が継続適用されることになりました。

引き続き、制度の趣旨を踏まえながら、新たなメディアへの情報発信や首都圏イベントによりPR機会を増やすとともに、地域商社と連携し返礼品の掘り起こしと磨き上げを図り、さら

に多くの方から本市の魅力を知っていただき、応援いただけるよう取り組みます。

■ ホストタウンの推進

5月7日から5日間、道の駅おおゆで、ハンガリーのこけし作家、トート・ヴァーシヤール・レイ・レーカ氏の作品展と、こけしの絵付け体験イベントを市内企業と共催しました。多くの方から参加いただき、伝統こけしが盛んな大湯地域において本市とハンガリーとの友好を深める有意義な機会となりました。

今後も、来る東京オリンピック・パラリンピックに向けて、本市がホストタウンとなってい

るハンガリーへの市民の関心を高めていきます。

■ 地域コミュニティへの支援

事業認定を受けた4つの自治会が自治会活性化に向けた新たな取り組みをスタートさせています。

また、集落の課題や地域資源を把握する状況調査については、集落支援員がサポートしながら、30世帯以下の自治会で重点的に実施し、自治会の主体的な活動を支援していきます。

■ 地域医療体制の充実

市内で、新たに皮膚科診療所の開業を目指す医師がいることを受け、医師確保および医療機関の開業を促進するため、これまでの医師確保対策事業に、医療機関開設資金支援事業補助金を加え、関連予算について本定例会に提出しました。

■ 果樹の生産支援

果樹農家の労働力を支援するため、現在9人の新たな果樹サポーターを育成しており、今後、

農家とのマッチングを行い、北限の桃のさらなる栽培拡大につなげます。

■ 鹿角花輪駅前観光案内所のオープン

6月21日にオープンした花輪駅前の観光案内所は、観光情報の提供に加え、特産品の紹介やレンタサイクルの貸し出しを行うほか、売店やバス乗車券の販売所、授乳室、多目的トイレなどを整備しました。市の玄関口となる駅前において効果的な情報発信により、鹿角観光の活性化を図ります。

■ 空き店舗を利用した商店街の活性化

ふるさと納税の仕組みを活用したクラウドファンディングによる寄附金を原資として、空き店舗を利用した新しいサービスを提供する事業者を4月26日から募集しています。商店街活性化の起爆剤となるような魅力ある事業を選定していきます。

■ 地元就職の促進による企業の人材確保

5月30日に開催した「鹿角地域若年者雇用安定会議」において、地元経済団体や高校関係者などが一堂に会し、若者の地元就職促進に向けた要請活動や意見交換などを行いました。

今後は、資格取得や求人活動に対する支援の拡充など、さらなる地元就職の促進を図りながら、市内企業の人材確保に取り組みます。

■ 統合後の小学校の状況

統合後の新たな通学路となるスクールバスのルートや徒歩区間を職員が同行し、安全上の課題を把握しながら、適切な改善策を講じています。

また、統合後初の運動会などの学校行事も盛会裏に行われ、各校とも順調に新年度のスタートを切ることができています。

■ 通学路の安全確認を強化

神奈川県川崎市で幼い児童が被害に遭う、大変痛ましい事件が発生したことを受け、改めて

■ 大湯環状列石の世界文化遺産登録に向けた取り組み

市内小・中学校に向けて、登下校時の事件・事故防止について指示しました。各学校では、スクールバス乗降場所付近の安全確認や巡回を強化するほか、鹿角警察署にスクールバスの運行経路や発着時刻などの情報を提供し、パトロールの強化を依頼しています。

大型連休中の大湯ストーンサークル館の入館者数は、昨年に比べ612人多い、2426人となりました。連休中は、展示ホールを無料開放したほか、道の駅おおゆでは、縄文体験コーナーなどを開催し、県内外から来場した方々に大湯環状列石の魅力を広くPRしました。引き続き、関係自治体と一層の連携を図りながら、世界文化遺産登録の早期実現を目指して取り組みます。

総務課 行政班

☎ 30・0203



行政報告を行う堀玉市長



山岳遭難救助訓練



ハンガリーこけし作家の作品展



鹿角花輪駅前観光案内所



安全確認された通学路を集団登校する児童



世界文化遺産の登録を目指す大湯環状列石